

成果の説明書

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
(1) 教育活動	
<p>①2022 年度は例年 9 月に行っている夏合宿を高崎市倉渕地区のはまゆう山荘で行うことができた。例年 12 月に行っている茨城大学、富山大学、新潟大学、中京大学等とのインカレ合宿を行うことはできなかったが、2023 年度の活動は、可能な限り 2019 年度以前に戻していきたいと考えている。</p> <p>②2、3 年生のゼミナール活動に関して、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」に 3 年生 3 チームと 2 年生 2 にチームの計 5 チームが出場した。結果として、「中山間地域の道の駅を利活用した地域復興の実現」を発表した 3 年生チームが一位となった。</p> <p>③3 年生のゼミナール活動に関して、オンラインで開催された「第 61 回日本学生経済ゼミナール関東部会（インナー大会）プレゼンテーション部門」に 3 チームが出場した。</p> <p>・今年度のゼミ活動を総括すると、課外活動が十分にはできなかった一方で夏合宿を実施できたことは大きな変化であった。ゼミ活動の内容は例年通り充実したものであった。地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」において優勝したことは 2 年ぶりに優勝するなど、目に見える成果が上がったことは意義あることであったと考える。</p>	
(2) 研究活動	
【公表論文等】	
・東京都港区の正史である『港区史』の分担執筆をした。2017 年度から開始して 2021 年 3 月に入稿、その後校正を行い 2023 年 3 月に刊行された。第 6 章「港区の税財政」（pp. 20-120）のうち「予算と歳出」を担当した。	
【科学研究費助成事業（基盤研究（B））の研究分担者】	
・課題番号：22H00927（2022-2026 年度）	
・研究課題名：「日本的ケアシステムに関する基礎的研究—緩和ケアにおける意思決定過程を中心に—」	
【学会活動等】	
①日本地域政策学会理事として運営に関った（2010 年 7 月～現在）。	
②日本地域政策学会政治行政部会に参加した。	
③日本地域政策学会第 21 回全国研究【宮城】大会の政治行政分科会において指定討論者をつとめた。	
(3) 学内行政	
・副学長（教育担当）として業務を執り行った。	
・基礎教育センター長として、業務を執り行った。	
・公立大学法人高崎経済大学理事として職務を執り行った。	

(4) 社会貢献

①群馬県関係

・群馬コンベンションセンター指定管理者評価委員会委員をつとめた(2020年度より継続)。

②安中市関係

・安中市行政改革審議会委員として活動した。(2012年12月～2022年11月)。2018年12月から2022年11月まで会長をつとめた。

・公立碓氷病院あり方検討委員会委員(副委員長)として活動した(2015年度より継続)。

・安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員(会長)をつとめた(2015年度の第1期より継続)。

③川口市関係

・行政評価外部評価委員会委員(副委員長・第二部会長)として委員会および部会の会議を主宰した。また、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言等を行った(2010年度より継続)。

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負